

平成21年度 第2回

山梨県考古博物館協議会資料

(次 第)

- 1 開 会
- 2 会 長 あいさつ
- 3 議 事
 - (1) 平成21年度考古博物館経過事業について
 - (2) 平成22年度考古博物館予定事業について
 - (3) その他
- 4 その他
- 5 閉 会

《「山梨の遺跡展2010」観覧のため考古博物館へ移動》

平成22年3月24日(水)
山梨県立考古博物館

資料目次

◇ 平成21年度考古博物館経過事業について

1	展示活動	1
(1)	第27回特別展『卑弥呼時代の黄泉世界～上の平方形周溝墓群発掘30周年～』	
(2)	企画展	
2	学習会、講座など	2
(1)	講演会	
(2)	チャレンジ博物館	
(3)	ものづくり教室 ～原始古代の技に学ぶ～	
(4)	縄文土器づくり教室	
3	イベント	2
(1)	県民の日イベント（11月20日）	
(2)	古代のもちつき	
(3)	第7回わたしたちの研究室 表彰式・発表会	
(4)	こうこはくdeタッチ&トーク	
(5)	縄文王国山梨イベント	
(6)	その他（協力事業）	
4	博物館利用状況	
(1)	総入館者数	5
(2)	特別展入館者数	6
(3)	学校関係利用状況	7

◇ 平成22年度考古博物館予定事業について

1	展示活動	8
2	学習会・講座など	9
3	イベント	9
4	インターンシップ・職業体験・学芸員実習	10
◇	山梨県考古博物館協議会委員名簿	11
◇	山梨県附属機関の設置に関する条例（抜粋）	12
◇	山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則（抜粋）	13

◇ 平成21年度考古博物館経過事業について

1 展示活動

(1) 第27回特別展

『卑弥呼時代の黄泉世界～上の正方形周溝墓群発掘30周年～』

入館者5,068人

会期：10月10日（土）～11月29日（日） 51日間（休館日なし）

会場：考古博物館

概要：甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園内に「方形周溝墓広場」として埋設保存・整備された上の正方形周溝墓群は、弥生時代後期（2世紀後半～3世紀前半）を中心として営まれた125基もの大規模な方形周溝墓群で、1979年（昭和54）の発掘調査時に京日本において最大規模の墓域をもつことで注目された。発掘から30周年にあたり特別展を企画した。

上の正方形周溝墓群が営まれたのは、中国の歴史書『三国志』の中の「魏志倭人伝」にみえる卑弥呼が活躍した時代で、各地で祭祀を行いながら集団を率いる首長が現れ、権力を拡大してゆく時代である。吉野ヶ里遺跡をはじめとする九州から関東の著名な遺跡の豪華な副葬品を中心とする、国宝1点、重要文化財88点を含む450点もの展示品から、各地の首長たちの活動の様子を浮き彫りにし、上の正方形周溝墓群の重要性を再確認する機会とした。

(2) 企画展

① 冬季企画展『甲府市内の出土品Ⅱ～表門郷物語～』

入館者915人

会期：12月12日（土）～1月31日（日） 開催日数28日

会場：考古博物館特別展示室

概要：甲府市内からの出土品で、甲府市教育委員会の30年以上にわたる発掘調査成果を展示した。昨年に引き続き2回目、今回は甲府市東部の、和戸町、川田町、横根町など、古代に表門郷（うわとのごう）と呼ばれた地域を対象とした。

② 『新年干支展』

入館者432人

会期：1月2日（土）～1月31日（日） 開催日数14日

会場：考古博物館エントランスホール

概要：今年の干支、「とら（虎・寅）」を題材として、収蔵品をミニ展示。古墳出土の竜虎鏡や、幕末から明治にかけての陶磁器などを展示した。

③ 第7回『わたしたちの研究室』研究発表展示

入館者978人

会期：2月9日（火）～3月7日（日） 開催日数22日

会場：考古博物館

概要：9月1日～11月30日まで募集した小中学生の考古学関係研究を、個人・団体別に委員会で審査し、2月7日に表彰した成果を発表展示した。

④ 風土記の丘望見展『ものづくり体験の現状と展望～青銅器づくりを中心として～』

入館者194人（2月末）

会期：2月2日（土）～3月21日（日） 開催日数40日

会場：風土記の丘研修センターエントランスホール

概要：風土記の丘研修センターでもものづくり教室として通年開催してきた、一般向けの「原始古代の技に学ぶ」、親子向けの「チャレンジ博物館」で取り組んだ、青銅器鑄造技術の探求などの成果を展示した。

⑤ 『山梨の遺跡展2010』

会期：3月13日（土）～4月12日（月） 開催日数27日

会場：考古博物館

共催：山梨県埋蔵文化財センター

概要：平成21年度に、山梨県埋蔵文化財センターが発掘調査した遺跡や市町村教委が調査し話題となった遺跡の出土品や写真パネルで速報展示した。

2 学習会・講座など

(1) 講演会

特別講演第2回 11月1日(日)『卑弥呼時代のお墓～方形周溝墓の展開～』
東邦学園中・高校教諭 山岸 良二氏
参加者 58人

特別講演第3回 11月15日(日)『銅鐸の世界』
樞原考古学研究所企画部長 寺沢 薫氏
参加者102人

(2) チャレンジ博物館

第6回 11月1日(日) 『弥生時代の稲刈りに挑戦しよう』
参加者 12人

第7回 11月22日(日) 『少し大きな勾玉をつくろう』
参加者 36人

第8回 12月13日(日) 『古代の青銅鏡をつくろう』
参加者 12人

第9回 1月10日(日) 『干支の土鈴をつくろう』
参加者 31人

第10回 2月14日(日) 『縄文時代のアクセサリーをつくろう』
参加者 23人

(3) ものづくり教室～原始古代の技に学ぶ～

第12回 11月21・28日(土) 『第3回青銅鏡作り』
参加者 12人

第13回 12月19日(土) 『第3回勾玉とガラス小玉作り』
参加者 15人

第14回 1月23・30日(土)・31日(日) 『草木染めと原始機織り』
参加者 30人

第15回 3月13・20日(土) 『第4回青銅鏡作り』
参加者 10人

(4) 縄文土器づくり教室

第2回目 2月6・13・20日(土) 参加者 42人

3 イベント

(1) 県民の日イベント(11月20日)

古代の衣装を着てみよう 参加者 23人

(2) 古代のもちつき

1月2日(土)・3日(日) 考古博物館ピロティ
参加者120人
古代米と言われる赤米・黒米や、古代から栽培された穀物キビ、縄文時代の主食ドングリをもちに入れて、もちつきと試食を来館者に体験していただく新春イベント。

(3) 第7回わたしたちの研究室表彰式・発表会

2月7日(日) 参加者 56人

小中学生が総合的な学習の時間や自由研究等で取り組んだ考古学に関する研究成果を募集し、優秀な作品に対して表彰を行い、発表会を開催した。

- ① 募集：9月1日（土）～11月29日（日）
 対象：県内の小中学生（個人研究部門・団体研究部門）
 応募内訳：個人研究部門242点（小学校4点・中学校238点）
 団体研究部門4点（参加人数176人）

② 表彰受賞者

個人研究部門の表彰

小学校の部：最優秀賞（教育委員長賞）該当なし・優秀賞（教育長賞）3名・
 努力賞（山梨県考古学協会賞）1名・奨励賞（考古博物館長賞）2名
 中学校の部：最優秀賞（教育委員長賞）1名・優秀賞（教育長賞）2名・努力
 賞（山梨県考古学協会賞）2名・奨励賞（考古博物館長賞）4名

団体研究部門の表彰

最優秀賞1件・優秀賞1件・努力賞（山梨県考古学協会賞）1件、奨励賞（考
 古博物館長賞）1件

特別賞（長年にわたり指導・応募いただいた先生・学校） 1名・1校

(4) こうこはくdeタッチ&トーク

- | | | | |
|-----|-----------------------------|-----|-----|
| 第5回 | 1月10日（日）「平安時代の食事について考えよう」 | 参加者 | 29人 |
| 第6回 | 1月31日（日）「表門郷の土器に触ろう!!」 | 参加者 | 25人 |
| 第7回 | 2月14日（日）「めったに触れない須恵器に触ろう!!」 | 参加者 | 47人 |
| 第8回 | 2月21日（日）「縄文土器にたくさん触ろう」 | 参加者 | 26人 |
| 第9回 | 2月28日（日）「2万年前の石の道具に触ろう」 | 参加者 | 24人 |

(5) 縄文王国山梨イベント

考古博物館と、谷戸城ふるさと歴史館、韮崎市民俗資料館、北杜市埋蔵文化財セン
 ター、南アルプスふるさと文化伝承館、県立博物館、釈迦堂遺跡博物館、富士吉田市
 歴史民俗博物館の8館が連携して、スタンプラリーや共同開催イベントを実施。

①山梨縄文王国めぐりバスツアー（山梨鈴木助成事業団助成事業）

11月29日（日）

考古博物館・北杜市谷戸城ふるさと歴史館・韮崎市民俗資料館
 参加者 36人

1月31日（日）

考古博物館・北杜市埋蔵文化財センター・南アルプス市ふるさと文化伝承館
 参加者 39人

②縄文王国古代の音色コンサート（文化庁地域文化芸術振興プラン支援事業）

11月 7日（土） 石坂亥士（太鼓など）コンサート
 参加者 36人

2月13日（土） 縄文笛毅（古代の笛など）コンサート
 参加者 91人

2月27日（土） オマタタツロウ（古代の笛など）コンサート
 参加者 90人

※考古博以外での開催

○石坂亥士コンサート：11月8日（日）北杜市谷戸城ふるさと歴史館

○『JOMON DOKI DRUM BAND 森の精霊』コンサート：11月14日（土）南アルプ
 ス市ふるさと文化伝承館、11月29日（日）韮崎市民俗資料館

○縄文笛毅コンサート：2月14日（日）県立博物館

○オマタタツロウコンサート：2月6日（土）県立博物館、2月7日（日）南アル
 プスふるさと文化伝承館

- 矢島たかしコンサート；1月30日（土）富士吉田市歴史民俗博物館、1月31日（土）北杜市埴麻文化財センター、2月28日（日）釈迦堂遺跡博物館
 - 宇々地コンサート；2月20日（土）釈迦堂遺跡博物館、2月21日（日）谷戸城ふるさと歴史館
- 参加者合計 837人

③巡回イベント

- 2月27日（土）「考古博で縄文体験」
 - 内容：ドングリクッキー試食体験、弓矢で狩猟体験、土偶作り、縄文服展示、木の実割り体験、参加各館紹介コーナー
- 参加者 40人

④スタンプラリー

- 8館全館をめぐりスタンプ台紙にスタンプを集めると、もれなくミニチュア土器のオリジナルスタンプセットをプレゼント。4館めぐって応募した方でも抽選でプレゼント。各館に応募した時点で、オリジナルしおりも贈呈。
- 応募者 8館めぐり 80人、4館めぐり 13人

(6) その他（協力事業）

「やまなし縄文芸術の会」等が主催した、次の事業について協力を行った。

①平成21年7月4日～5日 【桜座】

- ・縄文さんの方へ 講演 … 学術文化財課非常勤職員：新津健
- ・縄文さんの方へ 公演 … 舞踊家：田中泯、一般公募者

②平成21年11月19日～25日 【岡島百貨店7階 特設会場】

- ・縄文写真展 …… 写真家：滋澤雅人
- ・縄文装身具展 …… ジュエリー会社（株）シンク、装身具作家：深澤早苗

③平成21年11月20日・21日 【桜座】

- ・縄文振動 公演 … 舞踊家：田中泯、音楽家：坂田明、一般公募者
- ・縄文振動 講演 … 考古博物館学芸課長：保坂康夫

④平成22年3月6日 【桜座】

- ・縄文振動 公演 … 舞踊家：田中泯
- ・縄文振動 講演 … 人類学者：中沢新一
- ・縄文映像 縄文場踊り…やまなし縄文芸術の会制作協力、舞踊：田中泯
- ・プラネタリウム 縄文の空 … 県立科学館制作協力

4 考古博利用状況

次の3項目について、次ページ以降をご覧ください。

- (1) 総入館者数
- (2) 特別展入館者数
- (3) 学校関係利用状況

入 館 者 数 総 数

平成22年2月末現在 (単位:人)

年度	閉館 日数	常 設 展										特別展 入館者数	合計	累計		
		個 人		団 体		割引制度 大学・一般・小・中・高	旅行会社クーポン 大学・一般・小・中・高	高齢者 身障者	土曜日	教育課程	招待者				年間バス 券一ト	計
		大学・一般・小・中・高	3,412	5,885	538											
57	115	12,017	3,412	5,885	538					4,130	3,705		30,687	30,687		
58	295	16,957	6,423	10,948	1,742					8,744	3,981		48,795	87,877		
59	298	14,282	4,968	6,329	3,276					9,327	2,540		40,722	133,838		
60	298	12,879	4,431	5,209	3,116					7,533	2,660		35,628	173,481		
61	302	14,667	4,154	4,370	3,651					7,471	3,793		38,106	221,601		
62	298	16,066	4,588	4,760	1,951					8,957	2,558		36,880	263,998		
63	296	15,822	4,522	3,014	4,667					7,613	3,916		39,554	308,675		
1	299	16,349	4,813	5,059	6,332					7,147	2,982		42,682	356,982		
2	301	17,777	5,123	4,691	6,700					10,504	2,807		47,602	411,181		
3	300	15,775	4,422	4,538	7,541					8,975	3,684		44,935	461,905		
4	296	14,329	3,788	4,215	8,046					6,807	3,610		40,795	508,874		
5	289	13,272	3,865	3,636	8,211					8,164	3,492		40,640	554,105		
6	294	11,759	3,153	1,764	7,216				48	7,388	3,708		35,086	596,427		
7	291	12,519	2,749	1,548	5,076				11,230	6,845	3,573		47,962	733,471		
8	283	9,079	2,055	1,426	6,089				3,455	4,908	2,910		30,950	782,904		
9	291	7,470	1,795	1,073	5,594				2,633	4,125	2,442		25,575	813,674		
10	290	7,067	1,566	556	5,410				3,596	4,166	2,283		25,080	851,919		
11	288	6,283	1,705	521	4,208				2,339	4,409	1,839		21,636	880,367		
12	288	5,616	1,459	797	2,958				3,201	3,919	1,877		20,094	909,668		
13	292	5,717	1,560	800	2,271				2,517	3,683	1,191		17,989	933,712		
14	289	5,423	1,398	396	2,598				2,670	3,397	1,428		17,879	957,964		
15	290	4,444	1,312	479	2,379				2,887	3,465	1,065		16,602	982,633		
16	298	4,377	1,093	557	1,748				2,397	3,519	1,292		15,346	1,003,103		
17	296	4,432	1,069	307	2,874				3,265	3,093	1,039		16,555	1,024,812		
18	300	4,876	1,222	326	3,543	5			2,844	3,145	1,863	35	18,428	1,047,853		
19	301	5,239	5,967	346	3,482	11,560	1,067	38	11,546	4,747	2,070	608	50,887	1,149,981		
20	298	4,548	2,187	229	4,276	1,098	158	17	2,944	3,919	2,268	261	22,493	1,179,023		
21	294	4,197	2,483	212	3,854	927	64	14	2,766	3,520	2,362	252	21,009	1,205,100		
計	8,040	284,028	87,282	74,991	119,347	13,617	1,294	69	60,338	163,620	72,848	1,156	871,538	2,358,046		

H18～ 巡回展割引

H19～ セット券 (常設展・特別展)

特別展 入館者数等

平成22年 2月末日現在

年度	個人		団体		割引制度		特別券 持者 名	土曜日	教育課程	招待者	計	内 容	回
	大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高	大学	一般・小・中・高							
58	2,807	723	1,405	215					1,800	1,445	8,385	土偶展	1
59	1,840	308	926	26					1,194	945	5,239	縄文時代の酒道具展	2
60	1,352	161	832	36					785	839	4,015	山梨の中世陶磁展	3
61	3,232	520	1,065	8					2,585	2,604	10,014	古代甲斐国と畿内王権展	4
62	1,461	274	317	28					571	866	3,517	古代官道と甲斐の文化展	5
63	1,924	242	359	24					1,008	1,566	5,123	古代の装身具展	6
1	1,098	264	616	316					2,522	809	5,625	一粒の粉展	7
2	1,503	242	448	81					3,549	774	6,597	古墳時代が聞こえる展	8
3	1,100	199	350	3					3,318	819	5,789	縄文土器その心象世界展	9
4	2,263	344	414	115					1,903	1,135	6,174	天下人の時代展	10
5	840	101	231	0					2,446	973	4,591	山梨の経塚展	11
6	2,414	534	96	0					1,947	1,295	6,266	古墳時代の甲斐展	12
7	55,623	9,554	1,943	576			10,045	3,765	4,273	4,303	90,082	黄金の都シカノ発掘展	13
8	7,999	1,432	259	219			982	608	2,140	420	14,059	ネオデジタル・トル人の復活展	14
9	1,268	178	92	6			583	125	0	2,178	4,424	新発見考古速報展	15
10	1,683	167	389	0			587	62	737	1,770	5,195	韓国・中清北道の古代文化展	16
11	5,173	883	151	458			1,711	208	1,948	2,633	13,165	遙かなる工ジプト展	17
12	1,985	394	166	457			611	87	1,634	1,478	6,812	縄文の旅展	18
13	2,842	383	179	173			1,548	94	1,126	2,882	9,227	中国四川省古代文物展	19
14	1,555	309	205	205			721	92	1,913	1,035	6,035	黄金の輝き展	20
15	1,884	449	274	89			737	142	1,423	1,375	6,373	技と美の誕生展	21
16	1,965	133	126	0			1,237	145	2,227	2,274	8,127	大トルコ展	22
17	1,052	116	285	14			615	81	1,745	1,156	5,064	縄文の女神	23
18	942	167	206	234			828	109	1,806	863	5,154	山の民と海の民	24
19	993	191	115	42			802	83	1,546	612	4,613	甲府盆地から見たヤマト展	25
20	12,958	2,908	498	355	11,685	4,133	9,488	2,507	2,035	729	51,241	世界遺産ナスカ展	26
21	647	428	164	66	978	543	874	90	1,628	905	6,549	埋められた財宝展	27
22	605	420	39	351	861	51	687	68	748	1,128	5,088	卑弥呼時代の黄泉世界	28

H18～ 宿泊者割引
H19～ セット券（特別展・常設展）

学校関係利用状況

平成22年2月末現在

年度	県内						県外										
	小学校		中学校		高校		小学校		中学校		高校		計				
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数			
4	88	6,303	4	494	1	10	93	6,807	67	5,569	17	1,708	11	538	95	7,815	14,522
5	89	6,450	11	1,352	2	362	102	8,164	68	5,716	15	1,461	11	578	94	7,755	15,919
6	89	6,306	11	763	4	319	104	7,388	69	5,537	7	759	11	714	87	7,010	14,398
7	93	5,814	15	683	7	348	115	6,845	53	3,999	12	1,077	2	173	67	5,249	12,094
8	67	4,353	12	515	2	40	81	4,908	62	4,384	12	1,062	2	122	76	5,568	10,476
9	53	3,437	10	474	5	214	68	4,125	67	4,524	12	1,118	1	56	80	5,698	9,823
10	61	3,723	9	397	1	46	71	4,166	46	3,213	12	1,316	4	855	62	5,384	9,550
11	60	3,723	11	577	4	109	75	4,409	45	3,109	9	907	1	120	55	4,136	8,545
12	57	2,987	15	659	9	273	81	3,919	38	2,387	5	465	0	0	43	2,852	6,771
13	58	3,059	19	285	3	339	80	3,683	26	1,681	7	540	0	0	33	2,221	5,904
14	52	2,781	15	457	5	159	72	3,397	33	1,934	7	628	0	0	40	2,562	5,959
15	68	3,143	8	234	3	88	79	3,465	31	1,678	8	635	1	81	40	2,394	5,859
16	56	2,980	13	323	4	216	73	3,519	25	1,551	2	140	1	29	28	1,720	5,239
17	51	2,797	15	275	1	21	67	3,093	32	2,325	5	345	2	69	39	2,739	5,832
18	54	2,976	9	162	1	7	64	3,145	37	2,818	10	595	0	0	47	3,413	6,558
19	80	3,704	22	937	6	106	108	4,747	44	3,149	5	474	0	0	49	3,623	8,370
20	66	3,341	12	402	1	176	79	3,919	46	3,335	12	898	0	0	58	4,233	8,152
21	63	2,925	15	531	5	64	83	3,520	42	2,947	11	919	1	45	54	3,911	7,431
計	1,205	70,802	226	9,520	64	2,897	1,495	83,219	831	59,856	168	15,047	48	3,380	1,047	78,283	161,502

◇ 平成22年度考古博物館予定事業について

1 展示活動

(1) 第28回特別展

テーマ：『発掘された女性の系譜～女性・子ども、そして家族の造形～』

会期：平成22年10月9日(土)～11月28日(日)51日間(休館日なし)

会場：山梨県立考古博物館

概要：

近年、母子福祉や子育て支援など女性や母性が注目された取り組みがなされており、この流れに呼応した女性や家族をテーマとした展示とする。

日本列島に人間が暮らし始めた4万年前、すでに「家族」という概念が存在したといわれる。古代の遺跡から、人を表現した遺物が数多く出土しており、当時の思想や精神を伝えてくれる。縄文時代では、人口の増加への喜びさらには大地の豊穡を願うため、女性をかたどった土器や土偶であったり、弥生時代であれば祖先を意識した男女の土偶型容器であったり、また古墳時代であればはにわに表現される王や巫女の姿である。

こうした造形をとおして、縄文時代の現代と変わらない子供への愛、弥生時代に見られる夫婦や男女のあり方、古墳時代の王と巫女の関係など、太古に生きた「ひと」の姿を広く知ってもらう機会とする。

(2) 企画展

① 春季企画展『古代のアクセサリー』

会期：4月24日(土)～6月27日(日)

会場：考古博物館特別展示室

概要：縄文時代から古墳時代にかけての石製や金属製のペンダントや耳飾りについて、県内出土品を展示する。

② 夏季企画展『縄文時代の大型土器』

会期：7月17日(土)～9月5日(日)

会場：考古博物館特別展示室

概要：山梨県内の縄文土器の特徴である大型土器を中心に展示する。

③ 冬季企画展『甲府市内の出土品Ⅲ』

会期：12月11日(土)～1月30日(日)

会場：考古博物館特別展示室

概要：甲府市教育委員会の発掘調査資料の3回目の展示で、旧中道町地域の出土品を展示する。

④ 『新年干支展』

会期：1月2日(木)～1月30日(日)

会場：考古博物館エントランスホール

⑤ 第8回『わたしたちの研究室』

会期：2月8日(火)～3月6日(日)

会場：考古博物館特別展示室

⑥ 風土記の丘望見展

会期：2月1日(日)～3月20日(日)(予定)

会場：風土記の丘研修センターエントランスホール

⑦ 『山梨の遺跡展2011』

会期：3月12日(土)～4月10日(日)

会場：考古博物館特別展示室

共催：山梨県埋蔵文化財センター

2 学習会・講座など

(1) チャレンジ博物館

第1回	5月16日(日)	『弥生時代の矢じりをつくろう』
第2回	6月20日(日)	『縄文時代のアクセサリーをつくろう』
第3回	7月18・24・25・8月8日	『縄文土器をつくろう』
第4回	8月22日(日)	『縄文時代のかごをつくろう』
第5回	10月24日(日)	『縄文人のごちそうどんぐりを味わって』
第6回	10月31日(日)	『弥生時代の稲刈りに挑戦しよう』
第7回	11月14日(日)	『ユニークな土偶をつくろう』
第8回	12月12日(日)	『古代の青銅鏡をつくろうA』
第9回	12月19日(日)	『古代の青銅鏡をつくろうB』
第10回	1月9日(日)	『干支の土鈴をつくろう』
第11回	2月13日(日)	『縄文時代の布を編んでみよう』

(2) ものづくり教室～原始古代の技に学ぶ～

第1回	4月17日(土)	『勾玉とガラス小玉作り1』
第2回	4月24日(土)	『トンボ玉作り1』
第3回	5月15・23日(土)	『青銅鏡作り1』
第4回	5月29・6月5・19日(土)	『縄文土器作り1』
第5回	6月26日(土)	『トンボ玉作り2』
第6回	7月10日(土)	『勾玉とガラス小玉作り2』
第7回	8月28日(土)	『草木染め1』
第8回	9月18・26日(土)	『青銅鏡作り2』
第9回	10月16日(土)	『練香作り』
第10回	10月30日(日)	『トンボ玉作り3』
第11回	11月6・20日(土)	『重要文化財の土偶を作る』
第12回	12月11・18日(土)	『古代貨幣をつくる』
第13回	12月25日(土)	『草木染め2』
第14回	1月22・29・30日(土・日)	『草木染めと原始機織り』
第15回	2月5・12・26日(土)	『縄文土器作り2』
第16回	3月5・13日(土)	『青銅鏡作り3』

(3) 史跡文化財セミナー

第44回	4月29日(日)	『久遠寺と門前町』
第45回	6月13日(日)	『能見城防塁と新府城』
第46回	8月1日(日)	『富士山信仰と浅間神社』
第47回	10月24日(日)	『米倉山と周辺の古墳群』

(4) 考古学講座「女性研究者が語る考古学最前線」

6月6日(日)、6月27日(日)、7月18日(日)、8月8日(日)の4回。

3 イベント

(1) 風土記の丘こどもまつり

5月2・3日(日・月)

(2) 古代のもちつき

1月2・3日(日・月)

(3) わたしたちの研究室表彰式・発表会

2月6日(日)

(4) こうこはくdeタッチ&トーク

収蔵庫のバックヤードツアーを含めたイベント。8月7日(土)、1月22日(土)。

(5) 「考古博物館の日」のイベント

第4土曜日を「考古博物館の日」と銘打ちエントランスホールでミニイベントを実施。4月24日・5月29日「古代のアクセサリーをつけよう」、6月26日「縄文ぬりえ」、9月25日「特別展事前ぬりえ」、10月30日・11月27日「古代衣装を着よう」、2月26日「考古博冬まつり」

(6) 縄文王国山梨関連イベント

スタンプラリー 夏休みから10月中実施
巡回イベント 構成館3館で実施

(7) 特別展関連イベント

特別展事前講座9月5日(日)、特別展講演会10月17日・11月7日

(8) その他(協力事業)

舞踊家田中岷さんが主催する縄文土器づくり教室(4月～5月)、縄文場踊り(年数回)に協力予定である。

4 インターンシップ・職業体験・学芸員実習

高校生等の就職先選定に先立つ職場実習であるインターンシップ、主に中学生による職場体験、大学生の学芸員資格取得のための学芸員実習を受け入れている。インターンシップと職場体験は適宜受け付けているが、学芸員実習は考古学などの歴史系専攻生を対象として、5月中までに募集し、7月末から8月初めの10日間実施する。

山梨県考古博物館協議会委員名簿

(任期 平成二十年十月二十三日、平成二十二年十月二十二日)

区分	役 職 等	氏 名	出 身 分 野 (勤務先等)
委嘱	山梨県公民館連絡協議会	持田 利純	社会教育関係 (富士河口湖中央公民館長)
委嘱	山梨県市町村教育委員会連合会	宮崎 秀子	社会教育関係 (甲州市教育委員)
委嘱	山梨県PTA協議会	二井久美子	社会教育関係 (笛吹市)
委嘱	山梨県国際交流協会	李 榮求	学識経験者
委嘱	山梨大学准教授	大隅 浩壽	学識経験者
委嘱	山梨県立考古博物館協力会会長	椎名慎太郎	学識経験者
委嘱	山梨県考古学協会会長	谷口 一夫	学識経験者
委嘱	山梨郷土研究会理事	斎藤 洋子	学識経験者
委嘱	NHK甲府放送局局長	鈴木 郁子	学識経験者
委嘱	(財) 恒玄公宝物館長	田代 孝	公募
委嘱	会社員	湯川 邦夫	公募・家庭教育関係
任命	山梨県公立小中学校校長会	大森きよ子	学校教育関係 (増穂町立増穂南小学校校長)
任命	山梨県高等学校長協会	秋山 敏之	学校教育関係 (県立甲府東高等学校校長)
任命	山梨県小中学校社会科研究会	長谷川 義高	学校教育関係 (甲府市立南中学校校長)
任命	山梨県高等学校教育研究会地歴公民科部会	篠原 誠	学校教育関係 (県立日川高等学校校長)

山梨県附属機関の設置に関する条例(抜粋)

(趣旨)

第1条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法第138条の4第3項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

(附属機関の設置及び担当事務)

第2条

2 教育委員会の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

- 山梨県図書館協議会
- 山梨県高等学校入学者選抜制度審議会
- 山梨県へき地等教育振興審議会
- 山梨県特殊教育振興審議会
- 山梨県立美術館協議会
- 山梨県考古博物館協議会
- 山梨県地方産業教育審議会
- 山梨県文学館協議会

3 第2項の規定により設置される附属機関の担任する事務は、別表第1の担任事務欄の掲げるとおりとする。

(組織)

第4条 附属機関は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

- 2 委員は、別表第1、別表第2及び第3の委員要件欄に掲げる者のうちから、知事(教育委員会の附属機関にあっては、教育委員会、以下同じ)が任命し、又は委嘱する。
- 3 委員の任期は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の任期欄に掲げるとおりとする。

(会長等)

第5条 附属機関に、規則に定めるところにより、会長又は委員長(以下「会長」と総称する。)及び副会長又は副委員長(以下「副会長」と総称する。)を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。
- 3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。
- 5 副会長が置かれていない附属機関にあっては、会長に事故あるときは、あらかじめ会長が指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の2分の1以上が出席しなければ開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担任事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第1(第2条、第4条関係)

2 教育委員会の附属機関

附属機関	山梨県考古博物館協議会
担任事務	博物館法第20条2項の規定による山梨県立考古博物館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務
委員の定数	15人以内
委員の要件	1 学校教育の関係者 2 社会教育の関係者 3 家庭教育の向上に資する活動を行う者 4 学識経験のある者
委員の任期	2年

山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則(抜粋)

(趣旨)

第1条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(補欠委員の任期)

第3条 委員に欠員を生じた場合における補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 条例第5条第1項の規定により、附属機関に会長及び副会長1人を置く。

(定足数の特例)

第5条 条例第6条第2項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員人が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
定足数	過半数

(定例会及び臨時会)

第12条 次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議は、定例会及び臨時会とし、定例会の開催回数は、同表の開催回数欄に掲げるとおりとする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
開催回数	年2回

2 前項に規定する臨時会は、必要に応じて開催する。

(庶務)

第13条 附属機関の庶務は、次の所属欄に掲げる所属において処理する。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
所属	考古博物館

(委任)

第14条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

※ 参考 博物館法(抜粋)

(博物館協議会)

第20条 公立博物館に博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第21条 博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。